

中外製薬株式会社 横浜研究拠点プロジェクト

方法書説明会の開催状況、質疑、意見の概要及び事業者の見解

平成 29 年 10 月

中外製薬株式会社

1 方法書説明会の開催及び方法書の概要に関する周知結果

方法書説明会の開催及び方法書の概要に関する周知は、平成 29 年 9 月 28 日（木）に新聞へのチラシ折込と、平成 29 年 9 月 25 日（月）から平成 29 年 10 月 3 日（火）までに各住戸へのポスティングにより、「中外製薬株式会社 横浜研究拠点プロジェクト 『横浜市環境影響評価条例』に基づく 方法書の概要及び説明会のお知らせ」（別添資料）を、表 1-1 及び図 1-1 に示す方法書対象地域に配布しました。この他、計画地周辺の自治会へ資料を配布し、周知（掲示・回覧）しました。

表 1-1 方法書説明会開催等のお知らせの配布部数

配布対象区町等		配布部数	
戸塚区	<新聞へのチラシ折込> 戸塚町、上倉田町、下倉田町	42,650 部	<折込新聞名及び折込部数> 読 売： 17,450部 朝 日： 14,200部 日 経： 5,050部 産 経： 850部 毎 日： 2,050部 神奈川： 2,550部 東 京： 500部 <hr/> 合 計： 42,650部
	<各住戸へのポスティング> 区域境界から約 300m の範囲	5,657 部	—
合 計		48,307 部	—

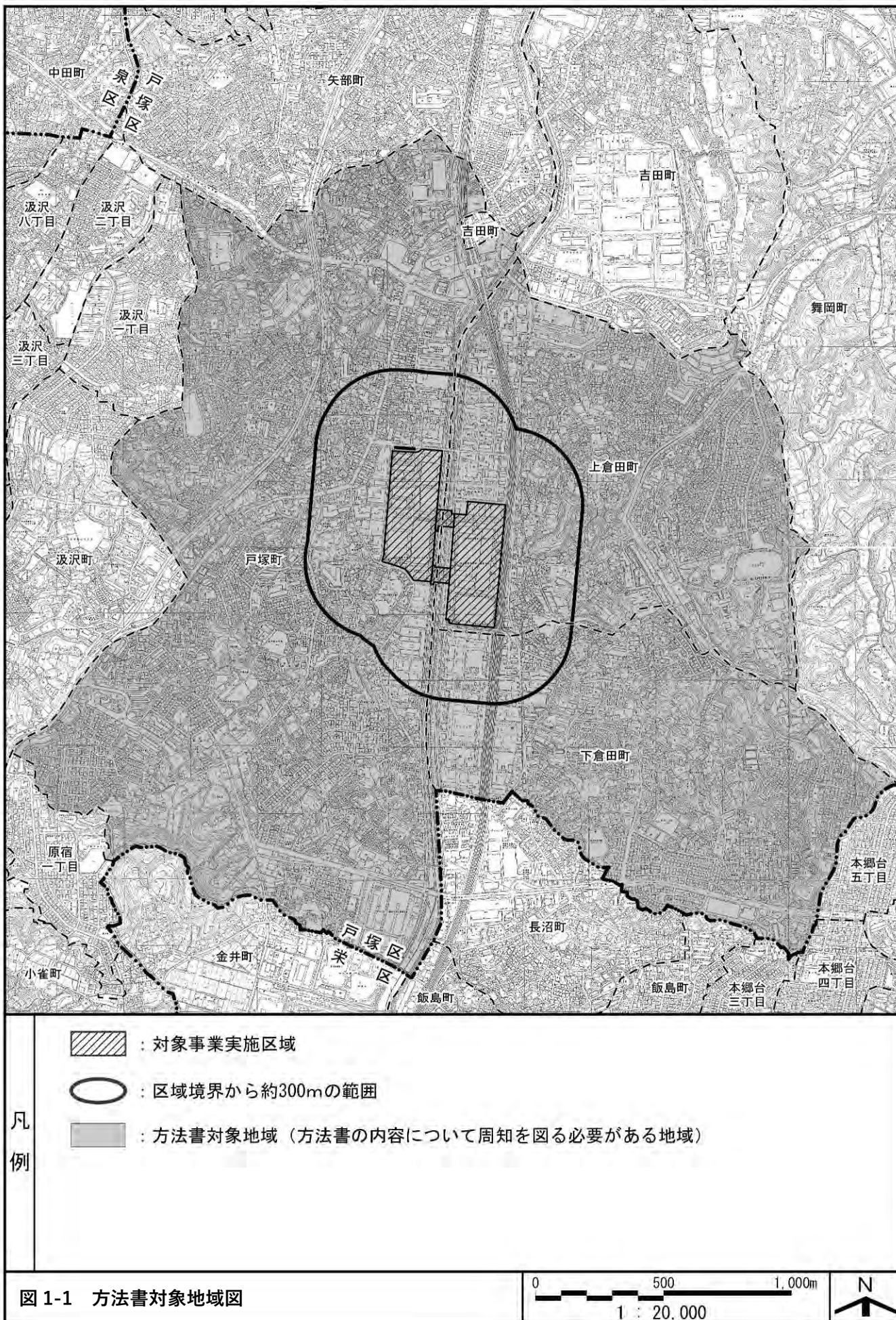


図 1-1 方法書対象地域図

2 方法書説明会の開催状況、質疑、意見の概要及び事業者の見解

2.1 方法書説明会の開催状況

方法書説明会は、表 2.1-1 に示す日時で計 2 回開催し、環境影響評価方法書の概要を参加者に説明しました。

表 2.1-1 方法書説明会の開催結果

回	開催日時	会場	参加人数
第 1 回	平成 29 年 10 月 13 日(金) 19:00~20:35*	男女共同参画センター横浜 ホール (横浜市戸塚区上倉田町 435-1)	67 名
第 2 回	平成 29 年 10 月 14 日(土) 14:00~15:46*	戸塚公会堂 講堂 (横浜市戸塚区戸塚町 127)	113 名
合 計			180 名

※：終了時刻は方法書説明会当日に引き続いて行った自主説明会も含まれます。
自主説明会は、平成 29 年 4 月（配慮書提出時）に実施した自主的な説明会でのご質問・ご要望への回答等を行ったものです。

2.2-2 方法書説明会における質疑、意見の概要及び事業者の見解

各開催日の意見の概要と事業者の見解は、表 2.2-1～表 2.2-2 に示すとおりです。

なお、整理にあたっては、発言順ではなく、項目別としています。

表 2.2-1(1) 方法書説明会（第 1 回）における意見の概要及び事業者の見解

項目	説明会における意見の概要	事業者の見解
事業計画※1	西側敷地の西側にはマンションに住んでいる人が多くいます。朝日があたらないことになると生活環境が変わることになります。西側敷地に高い建物を建てるのではなく、西側敷地にはグラウンドや低い建物を配置するなど、世帯数に配慮して計画を変えることはできないですか。	中外製薬が新しくすりを研究・開発するための研究機能を満たすには、一連・一体の研究棟としてこの規模が必要であります。そこで配慮・工夫として近隣マンションとの距離を 50m 離す、研究棟の前面の高さを 26m に低くするなど行い、本計画案を考えて参りました。この配置を変えることは難しい状態です。
事業計画	他社の研究所において、動物の焼却処理で異臭問題が起こった。ここでは動物の焼却についてどのようにする予定ですか。	実験用動物の処理は専門の会社に外部委託いたします。焼却施設は本事業の研究所にはありません。
省エネルギー計画※1	太陽光発電を設置する予定はないでしょうか。	現状は計画検討中であるため、規模までのご回答出来ませんが、可能な限り屋上に設置する予定です。
緑化計画※1	植える木は主にどのようなものでしょうか。	現在検討中でまだ選定しておりません。準備書の説明会でご説明できるように検討していきます。
生物多様性	方法書において、「生物多様性」の項目が選定されていないが、工事によって影響がないと捉えてよいでしょうか。	横浜市環境影響評価審査会（以下「審査会」といいます。）と同様のことが指摘されており、選定する方向で検討しています。
土壌汚染、水質	横浜市外の別の土地において、土壌汚染があるためにいまだ使われていない土地があるようです。この土地は大丈夫ですか。 柏尾川の両岸に研究所をつくることで、水質汚染のおそれはないですか。	現土地所有者が土壌汚染の改良を行っております。中外製薬には土壌汚染がない状態で引き渡される予定です※2。 また、柏尾川には排水いたしません。

※1：方法書説明会当日に引き続いて行った自主説明会での質疑・回答のうち、方法書の内容に関連があるものを掲載しました。

※2：対象事業実施区域は、土壌汚染対策法に基づく形質変更時要届出区域に指定（平成28年7月5日・指-111）されていますが、現土地所有者により土地の引渡しまでに、法令等に基づき当該指定に関して、土壌の入替え等適切な対策が図られる予定です。

本事業にあたっては、工事着手時に土壌汚染対策法第4条第1項（土壌汚染のおそれのある土地の形質変更が行われる場合の調査）に基づく届出を行う予定であり、関係機関と協議の上、法令等に基づき適切な対応を図ってまいります（「土壌汚染対策法施行令の一部を改正する政令」により、平成29年4月から、土壌汚染対策法の特定有害物質の項目として新たにクロロエチレンが追加指定されています。）。

表 2.2-1(2) 方法書説明会（第1回）における意見の概要及び事業者の見解

項目	説明会における意見の概要	事業者の見解
安全※1	医薬品を創るときにはウイルスや動物を扱うと思うが、その安全の評価は選定した項目に入っているのでしょうか。今後の説明会の中で、ウイルスや動物の安全対策について、配慮しているという説明をお願いします。	実験動物やウイルスの安全に対するシミュレーションについては騒音や振動とは異なり大変難しいです。安全に扱うための対策、管理方法などを示させていただこうと考えています。準備書の説明会で安全対策について説明させていただきます。
安全 (工事中)	「安全」の項目について、工事中を項目選定していないが、その理由を教えてください。工事中というのは、一次請け、二次請け、三次請けというところがあると思うので、そこの統制をとる方法として、今後ご検討いただきたい。	工事中は騒音・振動等を評価します。ここで示している安全の項目は施設稼働時に類似する施設の事故等を調査し、研究所の稼働時の安全対策を示す項目です。ご意見として承りたいと思います。なお、工事の委託会社は今後選定していきますが、指導含めてしっかりと対応したいと考えています。
安全 (浸水)	「安全」の「浸水」の項目はなぜ評価項目に採用しないのですか。	敷地内に降る雨水は、敷地内で処理するため評価項目に選定していません。
その他 (内水氾濫)	戸塚町内の自然な勾配から雨水の流れは西側敷地にいきます。水害について過去10年、20年前まで遡れるが、方法書ではなぜ過去1年しか調べないのか。	前向きに検討したいと思います。
その他※1 (内水氾濫)	雨水の処理について、現状より悪くならないのか、専門家の評価を横浜市かどこかにしていただきたい。	ご意見として、ご報告いたします。

※1：方法書説明会当日に引き続いて行った自主説明会での質疑・回答のうち、方法書の内容に関連があるものを掲載しました。

表 2.2-1(3) 方法書説明会（第1回）における意見の概要及び事業者の見解

項目	説明会における意見の概要	事業者の見解
その他※1 (窓口)	騒音や振動について、今後、窓口は設置する予定ですか。	工事中・施設稼働後においても近隣にお住いの方からの窓口を設置する予定です。ご相談いただいたことで対応可能なことについては可能な範囲で対応していきたいと考えています。
その他 (基準等)	各項目の調査・シミュレーションについて、その正当性の担保とそれをどう証明するのか、また合格基準を設定するのかについて教えて下さい。また、第三者機関でのチェックは行わないのでしょうか。	測定するデータの信頼性についてですが、データは複数人で確認いたします。そしてそのデータは、専門の学識経験者から成る審査会に提出します。また、中外製薬はコンプライアンス遵守を第一にしており、社内で厳しく指導しています。 合格基準について、騒音・振動等の定量的で公の基準があるものについてはその数字を遵守します。定性的なもの、例えば景観などについては、計画案を説明し、近隣にお住いの皆さまからご意見をいただき、審査会でも審議されます。
その他 (市への問い合わせ)	以前の説明会において、盛土による雨水の処理の質疑があったとき、中外製薬の敷地に降る雨水に関しては処理するが、周囲の公共道路の雨水については横浜市の実務責任であるという旨の回答があった。そうすると私どもは横浜市へ直接問い合わせることになるが、問い合わせルートを知りたい。	本日の説明会でいただいた意見及び事業者の見解は、横浜市及び審査会に提出します。
その他 (審査会)	9月27日に開催された審査会の会議録がまだ横浜市ホームページに掲載されていません。本日の説明会の前に開示されるべき情報だと思うが、このような状況は通常なのでしょうか。	通例では、審査会の会議録は次の回の審査会において前回議事録の確認をされ、その後に横浜市ホームページに掲載されます。9月27日以降、審査会が開催されていませんので掲載されていないと思われます。

※1：方法書説明会当日に引き続いて行った自主説明会での質疑・回答のうち、方法書の内容に関連があるものを掲載しました。

表 2.2-2(1) 方法書説明会（第2回）における意見の概要及び事業者の見解

項目	説明会における意見の概要	事業者の見解
事業計画	盛土を2mする理由を教えてください。	研究棟部分を2m盛土させていただきますが、これは市のハザードマップにおいて柏尾川が万が一氾濫した場合に2m浸水と記載されていますので、これを踏まえ建物が水没しないように計画しています。
事業計画※1	現在、東側敷地では現土地所有者により、土壌改良をしているようですが、東側敷地の計画が西側敷地の計画より遅くなる理由は土壌汚染対策工事に関連しているのですか。	現土地所有者の土壌改良に課題があり、遅くなるわけではありません。今回第一期の計画として西側敷地を中心に創薬研究の建物の建築を予定しており、その後に東側敷地について計画することを考えています。
緑化計画※1	地域では、柏尾川沿いの桜並木の保全の活動をしている。柏尾川東側は現土地所有者の敷地内の道路際に桜があった。その桜が切られるということだが、桜の並木を検討いただきたい。	現土地所有者からは、解体に伴って桜は伐採せざるを得ないとお聞きしています。中外製薬としましては、柏尾川沿いの桜並木は大切であると考えており、近隣にお住まいの皆さまとご相談させていただきながら桜を植えて、少し時間はかかるかもしれませんが、桜並木としていきたいと考えています。
施工計画	工事中の待機車両は敷地内だけで考えていますか。	待機車両は近隣にお住まいの皆さまのご迷惑とならないように指導していきます。
廃棄物	廃棄物には一般廃棄物、産業廃棄物の2種類があります。産業廃棄物の処理でいい加減な処理が行われないうちにきちんとしなければならないと考えます。運搬車両を管轄自治体に届け出るようになっており、可能であれば事前に車両一覧表を提出し登録されているか否かを確認することとなっています。搬出した廃棄物が正当なところに、正当なルートで廃棄されているかということも徹底頂きたい。加えて、工事中の車両通行について、ガードマンをつけたり、道路の通行の安全について発注者として留意して下さい。	産業廃棄物を担う会社や施工会社はまだ決まっていませんが、決まりましたらご指摘いただいた点について、しっかり指導していきます。

※1：方法書説明会当日に引き続いて行った自主説明会での質疑・回答のうち、方法書の内容に関連があるものを掲載しました。

表 2.2-2(2) 方法書説明会（第2回）における意見の概要及び事業者の見解

項目	説明会における意見の概要	事業者の見解
大気質、騒音、振動	大気質と騒音・振動の一般環境の調査地点が道路に近いが車両等の道路沿道の影響が含まれてしまうのではないのでしょうか。計画地の中ほどにした方がよいと思いますがいかがでしょうか。気象調査地点あたりまで中に入れるというのは、無理でしょうか。	計画地の周辺一帯として大気質・騒音・振動がどのような状況か、現況を把握する目的があります。その中で周辺に住宅が隣接している状況を踏まえ、西側敷地の西側が望ましいと考え地点設定しております。気象の調査地点は、西側敷地の西側のマンション側に寄ってしまうと建物の影響を受けてしまうために敷地の中側に設定しています。
騒音、振動 ※1	戸塚小学校から計画地の間あたりに、騒音、振動の調査地点を追加してほしい。	ご要望として承り、直接の影響があるかどうかも含めて検討させていただきます。
騒音、振動等	騒音・振動や外観の点では過去との比較が必要と思う。更地になった状態からの比較ではなく、かつて工場が建っていた時と比べてどう変わるかが重要であると思う。多分、現土地所有者が行った境界における騒音や振動のデータが公開されていると思うので、調べていただいた方がよいと思う。	既に建物も解体されており、かつて工場であった際の騒音・振動のデータが現在私どもにないのでその比較は難しい状況です。現状の状況からのデータでお示しさせていただけないかと考えておりますが、過去のデータを調査し利用可能であれば参考にしたいと思えます。
地盤	現在、現土地所有者が土壌改良を行っており、毎日微弱な地震が起きているような状況である。このあたりは昔田んぼであった関係から軟弱な土地のため、土地を改良した上で研究所を建設された方がよいと思う。	今後、計画を進めていく中で検討いたします。
風害	平成横浜病院からピアゴにかけて直線になっていて、その向かい側のパークホームズ戸塚町のところは、日によって強風がぬけています。30mの建物が両側に建つとさらに風が強くなるのではないかと心配しています。敷地の中だけでなく外へ出て風がどういふ具合に吹くのかというのを把握して下さい。	ご意見としてお伺いし検討させていただきます。と思います。

※1：方法書説明会当日に引き続いて行った自主説明会での質疑・回答のうち、方法書の内容に関連があるものを掲載しました。

表 2.2-2(3) 方法書説明会（第2回）における意見の概要及び事業者の見解

項目	説明会における意見の概要	事業者の見解
安全 (有害物漏洩)	研究所から排気するガスをフィルターで除去したり、タンクに薬品をためるとのことですが、どういう種類のものがあって、それらが事故で流出したときどういう影響があるのかについて、いつ知らせていただけるのかを教えてください。できれば名前とか人体に与える影響などが分かれば教えてください。	排水・排気については徹底した安全対策（フィルターの設置、適切な排水処理機器の設置、環境のモニタリング実施など）を行い、近隣にお住いの皆さまに影響の無い排水・排気を行っていく考えです。しかしながら、こういったガスがどのように漏れるかのシミュレーションは非常に難しいです。従いまして、準備書の説明会では、こういったものを使うのか、その安全対策はこのように考えていますということをご説明させていただきたいと考えています。
地域社会 ^{※1}	提供公園に向かう人が増えると思われるため、西側敷地の南西側の提供公園あたりに自動車交通量の現地調査地点を加えてほしい。	調査地点として加えることで考えております。
その他 ^{※1} (内水氾濫)	西側敷地北側のセブンイレブン周辺は、ちょっと雨が降るとマンホールから水が噴き出します。柏尾川は上流の川が合流してくるので結構水量が多いもので、柏尾川の堤防の西側で駅のところ付近までは大体そのようになるが、それをご存知でしたでしょうか。	ご指摘いただきました地域は、土地が低いということは認識しております。雨水対策については、道路からあふれた雨水は中外製薬敷地内の側溝に入り、雨水抑制槽に入ります。また中外製薬敷地内の側溝から溢れた雨水は中外製薬の敷地に入ります。
その他 ^{※1} (内水氾濫)	西側敷地の西側マンションはハザードマップ（内水）で浸水が20cm以下となっています。従いまして酷い浸水にはならないと思っています。ただ現状オーバーフローでもあることから雨水抑制槽については、施設完成後からではなく、工事中に先行して整備していただければと思います。	先行してできるかどうか検討します。

※1：方法書説明会当日に引き続いて行った自主説明会での質疑・回答のうち、方法書の内容に関連があるものを掲載しました。

表 2.2-2(4) 方法書説明会（第2回）における意見の概要及び事業者の見解

項目	説明会における意見の概要	事業者の見解
<p>その他^{※1} （盛土、内水氾濫）</p>	<p>2 mの盛土の根拠と雨水抑制槽の容量を教えてください。</p>	<p>横浜市ハザードマップで万が一柏尾川が氾濫したときにこの辺りは2 m浸水すると提示されており、それに基づいて研究棟を建設するところは2 mの盛土をする計画としております。</p> <p>雨水抑制槽は「横浜市開発事業の調整等に関する条例」で決められております 720 m³/ha として、西側敷地 6,000 m³、東側敷地 6,000 m³の合計 12,000 m³の雨水抑制槽を設置する予定です。</p>
<p>その他 （災害時対応）</p>	<p>地震などの災害時に住民を受け入れるなどの話を横浜市と約束しているのでしょうか。</p>	<p>まだ横浜市と協議はしていませんが、地震などの災害時に、近隣にお住いの方のお役にたてるよう、エントランスエリアなどに200名程度受け入れることが出来るよう、非常食等の備蓄品も用意することを考えております。また、緑道部分につきましても開放することを考えております。</p>

※1：方法書説明会当日に引き続いて行った自主説明会での質疑・回答のうち、方法書の内容に関連があるものを掲載しました。